

○委員長（井上宜久）

それでは、認定第1号 決算認定について（一般会計）について、認定することに賛成の方の起立をお願いします。

（起立多数）

○委員長（井上宜久）

起立多数で認定すべきものと決しました。

続いて、認定第2号 決算認定について（国民健康保険特別会計）についての討議を行います。

ご意見のある方の発言をお願いします。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

今、なしという声が聞かれましたけれども、いいですか。では、ないようですので、採決に移ります。

認定第2号 決算認定について（国民健康保険特別会計）について、認定することに賛成の方の起立をお願いします。

（起立全員）

○委員長（井上宜久）

起立全員により認定すべきものと決しました。

続いて、認定第3号 決算認定について（下水道事業特別会計）について、討議を行います。

意見のある方の発言を求めます。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

ないという意見が出されました。ないようですので、採決に移ります。

認定第3号 決算認定について（下水道事業特別会計）について、認定することに賛成の方の起立をお願いします。

（起立全員）

○委員長（井上宜久）

全員により認定すべきものと決しました。

続いて、認定第4号 決算認定について（介護保険事業特別会計）について、討議を行います。

ご意見のある方の発言を求めます。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

なしというような意見が出ました。ないようですので、採決に移ります。

認定第4号 決算認定について（介護保険事業特別会計）について、認定することに賛成の方の起立をお願いします。

（起立全員）

○委員長（井上宜久）

全員により認定すべきものと決しました。

続いて、認定第5号 決算認定について（給食事業特別会計）について、討議を行います。

ご意見のある方の発言を求めます。

山田委員。

○8番（山田貴弘）

質問の中でも言ったのですけれども、地場産の材料というものがどのぐらい消費されているのかというのは、やはり重要な部分ではないのかなと思っています。その部分では、報告書等、決算のときでなくてもいいので、情報の部分で、アバウトな感じで、お米はここら辺のものを使っているのだよとか、それだけではわからないので、流通の中で地元の消費というのが一番重要なので、そこら辺の書面の報告をもらいたいなというところがありますので、そこら辺、意見書としてつけるものなのか、どうなのか。また、この報告の中で言ってもらってもいいのですけれども、そこら辺、丁寧に報告をお願いしたいという。また、アレルギーの問題もそうですよね。そこら辺も、もうちょっと丁寧に扱ってもらいたいという意見書をつけてもらいたいなと思っています。

○委員長（井上宜久）

ただいまの意見、どうですか。地場産とアレルギーの問題。

吉田委員、どうぞ。

○3番（吉田敏郎）

今、山田委員の言うことはよくわかっております。アレルギーに関しては、今日の答弁の中にもありましたけれども、個々にいろいろ対応しているということもあり、それから前田委員がいろいろ細かく質問しておりました。そのことで非常によくわかることでありますけれども、委員長報告というか、そういう中で意見書を出すまでにはどうなのかなというのが自分の個人的にはあります。アバウトなようですけれども、学校のほうでは1人1人、非常に細かく対処をしているということは承知しております。そういうことで、自分の意見として言わせていただきました。

○委員長（井上宜久）

そのほかに、ありますか。

それでは、給食関係については、地場産についての消費についての情報提供、それとアレルギー問題についての慎重な対応、この辺を求めるというか、対応してほしいという意見を委員長報告の中でしたいというふうに思います。

茅沼委員。

○7番（茅沼隆文）

茅沼です。

給食事業特別会計のことで、あと一般会計の中での教育費の件があったりするもので、表現方法は、あくまでも給食事業特別会計に沿った内容でないはずですよ。

例えば、給食の食材についてとか明確にしないと、ただ単純にアレルギー対策をしてくださいとか、地場産を何で使わないのだなんて、こういうふうな言い方をしてしまうと、それは一般会計の教育費のほうに関係したりするから、この辺、微妙だと思うので気をつけていただきたい。

○委員長（井上宜久）

高橋委員。

○2番（高橋久志）

給食事業特別会計の意見を出すと。すぐわかない点が論議の中で私も感じております。だから、アレルギー体質、食材に限ってどうなのかというのが、その辺の件もありますし、あるいは地場産については、食材についてはあるのですけれども、これからの課題だというふうな受けとめて、特別会計の中では、もう少し今後の課題に移したほうがいいのかなと私自身は思っております。

○委員長（井上宜久）

今までの意見ですと、給食事業特別会計の中についてはちょっとすぐわかないのではないかなという意見が2点ですか、出されましたけれども、この辺については。議長、どうぞ。

○12番（小林哲雄）

委員外委員の小林哲雄です。

実は、給食の特別会計というのは多分5～6年前にできた特別会計なのです。本来は学校が給食費を徴収していたのですが、公金だということで監査委員の指摘を受けて特別会計にしたと。原則的には、中身は、給食費をどうやって集めるかの給食費の回収が特別会計であって、材料費をどう使うとか中身的なものはやはり一般会計のほうに属するのかなという気がしますので。給食会計というのは給食費を徴収する会計だと割り切って考えていただければ、今の議論は答えが出ると思います。以上です。

○委員長（井上宜久）

アレルギーの問題については、一般会計の中で前田委員がいろいろ質問されて意見を述べられていましたけれども、今、出された意見については、地場産の問題については山田委員のほうから出されたのですけれども、これは、地場産が出たのは、意見を出されたのは、今回、今日だったっけ。そうですね。この辺の取り扱い、どうしたらよろしいでしょうか。

茅沼委員。

○7番（茅沼隆文）

茅沼です。

今、議長が説明いただいたように、給食事業特別会計というのは、給食費を父兄から集めて、それを材料の購入に使ったよというだけの特別会計なので、せっかく質問された同僚議員には大変恐縮で申しわけないのですが、アレルギーの問題と地場産を使うという話は、特別会計のときの質問ではふさわしくなかったと思います。

○委員長（井上宜久）

前田委員。

○5番（前田せつよ）

前田でございます。

一般会計でアレルギーに関しての質問をしたときに、担当課の課長のほうから、材料費のことに触れたときには、それは特別会計でやってくださいというようなお話があったということ、ここで明言させていただきます。

○委員長（井上宜久）

山田委員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。

今、茅沼委員より、この部分で取り上げたのは違うというような意見が出たのですけれども、自分は認識の中でそうはとっていなかったのです。一般会計の議論も確かにある。だから、前から給食事業費、一般会計へ持っていけばいいではないかという話は自分もしているほうなので、確かに、一般会計の議論というのもあるのですけれども、やはり食材の徴収している先、我々父兄ですよ、そこから入れてきたところでの意見では、こうやって安全な安心な食材を提供してもらいたいという気持ちが根本にあるという部分では、やはり地場産、アレルギーの問題というのは大変重要な問題で。

単なる、これはお金の徴収している機関だよと言われてしまうと、確かに、それはそうですけれども、そうすると全てのものが単なる口座的な考えで徴収する部分ですよとって終わってしまいますので、そここのところで、材料を購入するに当たって、ある意味、条件的なもの、なるべく地場のものを、開成町だけの地場ではないですよ、関東に広げるのか神奈川なのかというのは、また議論が必要なのもかもしれませんけれども、それで材料を購入してくださいという意味で言っているので、議論の余地は特別会計でもおかしくはないのかなという。

それが報告として載せるのかどうかというのは、また別の問題ですけれども、議論はしてもいいのかなと自分は思っているのですけれども、そこが間違いなのかどうなのか。仮に議論が間違いであれば、ここで報告するのは論外という話になるので、まず、そここのところを検討してもらって、自分が間違えているのであれば、これは報告に入れなくても構わないので。逆に言えば、一般会計のほうで、そういう意見を入れてよという流れに今後はなってくると思うので、そこら辺、ちょっと明確にしてもらいたいと思うのですけれども。

○委員長（井上宜久）

前田委員から、一般会計の質問の中で教育長から特別会計でやってほしいというようなことが明言されているということであれば、当然、ここで検討すべき問題だというふうに思います。そういうことで、そういうあれが事実あったということでありますので、それでは、特別会計で地場産のこの辺の問題について委員長報告の

中に入れるかどうか、その辺の議論をしたいと思います。どうですかね。

小林議長。

○12番（小林哲雄）

委員外委員の小林です。

今回はお金の動きで決算なので、決算に対してどうなのかという話なので、施策の話ではないのです。

もう1点。予算書を含めて、決算書もそうなのですが、各学校で学校給食費を持っているのではないですか。その中に経常的一般管理費と臨時的一般管理費、学校給食費という項目があって、その中で経常的一般管理費を管理しているのだから、本来だったら、こちらのほうで、教育委員会が管理するのはこちらのほうなので、あくまでも特別会計は金の出入りだけというふうにしたほうが明確ではないのかなと思うのですが。

だから、今回、たまたま前田議員さんの質問のときに、それは給食会計だよというのは、それが間違いだったのではないかなと。本来だったら、ここで前田さんがしっかりと質問しているわけではないですか、学校給食費のときに。それで教育委員会がしっかりと答えてくれれば、逆に、今の問題は一般会計のほうにちゃんと追加で入れられるという話で終わったのではないかなというふうに思うのです。これが、給食は給食会計に任せているのではなくて、学校給食費ということで各学校に項目が立っているので、その中で運用、管理はしていると思いますので、給食の特別会計でつけ加えるのはちょっと違うのかなというような気がします。

○委員長（井上宜久）

茅沼委員。

○7番（茅沼隆文）

いろいろな背景を考察して、委員長報告として今のような話を述べたらいいと思う。一般会計で質問すべきなのか、質問した際には、そういうふうになったので給食事業特別会計で質問したと。そのときには、こういうふうな話題が出たと。それぞれについて、しっかり対策をするように望むというような文章表現の問題だと思う。うまいこと、まとめてやってください。私は取り上げて言っていると思う。

○委員長（井上宜久）

高橋委員、どうぞ。

○2番（高橋久志）

論議の関係ですけれども、私は改めて344ページの給食事業特別会計の状況を見ました。確かに、給食材料費という関係で費用の関係、給食納付費、それから年間の給食の回数、給食事業費としても載っておりますけれども、今までの給食事業特別会計の経過、先ほど議長からお話がありましたように、今まで学校で集めていたものの安全管理を含めて、特別会計として監査委員の要望なんかも踏まえて今回、ここに入れられてきたと。こういった関係がありまして、材料費の話、あるいはアレルギーの話、それは非常に大切なことだと思うのですが、一般会計のほう

が合っているのかなど、特別会計にはちょっとという感じを今の状況を見て感じております。

○委員長（井上宜久）

下山委員。

○4番（下山千津子）

アレルギーの件ですが、今後、ますます子どもたちのアレルギーは増えると思いますので、そういった意味でも安全な食材としての対応は大事だと思いますので、ぜひ、盛り込んでいただきたいと思います。

○委員長（井上宜久）

アレルギーの問題については、一般会計の中で問題提起をして、それなりの答弁をいただいていますので、私の考える中では、それなりに対応していただくということで処理されているから、ここでは地場産の材料の購入の問題が言われたので、材料の購入に絞って、どうするかということで議論したいと思いますので。

菊川委員。

○1番（菊川敬人）

いろいろ意見が出ていますが、今回の24年度の決算に関しては、地場産の問題に関しては特別会計で意見が出されて、行政側も、そういう形で答弁されていますので、ここを一般会計のほうへまた持っていくというのはちょっと無理があるのかなど。今回に限っては、ここで処理していかなくてはいけないのかなと思います。

○委員長（井上宜久）

私も、今回については、入れるか入れないかは別にしても、やはり特別会計で今回は処理していくべきではないかなというふうに思います。そういうことで、委員長報告の中で、特別会計で入れるか入れないかという、その辺、ちょっと議論をしていただきたいと思いますと思うのですけれども。

菊川委員。

○1番（菊川敬人）

1番、菊川です。

では、続けて申し上げます。地場産の質問が出たときに、これは前にも同様な質問が出ているのですけれども、行政側のきちんとした形での答弁ではなかったかなというふうに、私もちょっと納得いかない部分というのがあるのです。どれぐらいの割合で使っているのだというところに対して、いや、米は使っていますよとかという、大部分、使っていますよという返事でありましたので、そこは、やはり質問者側からすれば、もう少しきちんとした形で情報を提供していただきたいという部分があるかなと思いますので。その部分については、どういう形で情報提供していただけるかということもあるのですが、そこは述べておいていただいたほうが、質問者のせっきく質問した意図をくみ上げる必要があろうかと思います。

○委員長（井上宜久）

地場産の問題については、結構、その都度、議員のほうからも給食関係で出され

た今までの経過が確かにありますよね。教育委員会としても一月に1回だ、一月に2回だというレベルなので、そういった単発な答弁に終わっているというのが事実だと思っていますけれども。ここで再度、もう少し地場産についての取り扱いをきちんとする意味では、委員長報告の中に入れていくべきと、この件については思いますけれども。

あと、1人か2人、意見をいただきたいと思います。

佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

9番、佐々木です。

載せるということに関しては私もいいと思いますけれども、アレルギーのことに關しまして、アレルギーの子にスポットを当てるということに対しまして、報告の中で慎重に取り扱っていただきたいと。ああ、載せない。失礼しました。すみません。

○委員長（井上宜久）

アレルギーについて、一般会計の中で前田委員の質問に対して行政のほうから正確な答弁が出されて、前田委員も納得されていますので、それはそれで特にいいのではないかなというふうに思いますので、申しわけありません。

では、意見がないようですので、特別会計の中で地場産関係については意見として取り入れるということで進めたいというふうに思います。いいですか。

（「異議なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

では、そういうことで言います。

そのほかに、給食関係で意見がありましたら。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

ないようですので、採決に移ります。

認定第5号 決算認定について（給食事業特別会計）について、認定することに賛成の方の起立をお願いします。

（起立全員）

○委員長（井上宜久）

起立全員で認定すべきものと決しました。

続いて、認定第6号 決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）について、討議を行います。

ご意見のある方の発言をお願いします。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

なしという声が出されました。ないようですので、採決に移ります。

認定第6号 決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）について、認定

することに賛成の方の起立をお願いします。

(起立多数)

○委員長(井上宜久)

起立多数で認定すべきものと決まりました。

続いて、認定第7号 決算認定について(水道事業会計)及び議案第53号 平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、討議を一括して行います。

ご意見のある方の発言を求めます。ありませんか。

(「なし」という者多数)

○委員長(井上宜久)

ないようですので、採決に移りますが、採決は認定第7号と議案第53号は個別に行いたいと思います。

まず、認定第7号 決算認定について(水道事業会計)について、認定することに賛成の方の起立をお願いします。

(起立全員)

○委員長(井上宜久)

起立全員で認定すべきものと決まりました。

続いて、議案第53号 平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての原案に賛成の方の起立をお願いします。

(起立全員)

○委員長(井上宜久)

起立全員で可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、特別委員会に付託されました認定第1号 決算認定について(一般会計)から認定第7号 決算認定について(水道事業会計)まで、及び議案第53号 平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、処分にかかわる審査、審議は全て終了いたしました。

4日間にわたり慎重審議をいただき、ありがとうございました。また、私の委員会進行にご理解をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

以上をもちまして決算特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。

午後4時39分 散会